

# 日高町 議会だより

No.70

令和4年10月21日発行  
日高町議会



《 マッチなどを使わず火起こしにチャレンジ！自分で炊いたご飯をたのしむ子どもたち(広富アドベンチャー) 》

新体制の議員から町民の方々へ…………… 2p

議会9月会議…………… 4p

一般質問は10人

「新たな住宅リフォーム条例の制定を」

ほか…………… 8p

# 新体制の日高町議会 議員から町民の方々へ

議長  
神保一哉



副議長  
高橋克徳



改選から半年、早いものです。町政の意思決定をする議会の場で、僅かなり責任を果たしたいと思いつつ、既にこの歳。意欲を持つより、振り返ることが多くなってしまう。

当面の、門小門中改築問題と国立公園化に伴うまちづくり、議会改革の具体化等々、老体を鞭打っていきます。

議会は、住民を代表する公選の議員をもって構成される地方公共団体の意思決定機関であることを、念頭に議会改革を推進し、まちづくりのために町民の皆さんと共に全力で頑張っています。



堂前保志

今、日高町は人口減少、巨大地震への備え、地域経済・観光事業の活性化、地域コミュニティの醸成などの課題を抱えています。この4年間、課題解決に向けて町民の皆様と共に一歩ずつ歩みを進めて参ります。



井上義生

「どうしたらまちを元気にできるか」を考えるため、地域の現状を把握し、課題解決の糸口を見つけるためにも、現場に足を運び、みなさんの声を聞かせていただき、まちの発展のため地道に取り組みます。



渡部力

「大衆と共に語り、大衆と共に戦い、大衆の中に死んでいく」との立党精神のもとに小さな声や思いを町政に届けていき、住民が笑顔になれる町を作るため、住民と行政の架け橋となるよう努力して参ります。



蔦守

地域の皆さんと行政・議会が地域の課題に取り組み、夢と希望にあふれるまちづくりを目指して、「地域の皆さんの声を町政に」届け、地域を守り協働するまちづくりで全力で取り組んで参ります。





白石典昭

第1次産業を中心として、いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせるまちづくりと、議員の職責である「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」を完全に達成できるように、努力して参ります。



小園 暁子

4年間で多くのことを学びました。逼迫した財政の立て直し等問題は山積しています。環境問題は地球規模ですが、地方自治体の単位で美しい地球を取り戻すための努力をするべき時だと思えます。



梅木 聡

町民皆様の声に耳を傾け、安心して住みたい、住んで良かったと思う町、子ども達の元気な声が聞こえる町、災害に強いまちづくりを引き続き取り組んで参ります。



互野利夫

「町民からの声を確実に市政に反映させる！」を旗印に、税金の使い道を監視するのが我々の役目であり、監査委員としても怯まぬ正義感での責任追求と解明に意を注ぎ、市政の発展に全力で頑張ります。



工藤守弘

日高町の将来を考え地域に根ざした「安心して暮らせる町づくり」に町民と共に、知恵と勇気をもって、全力で諸問題に取り組みます。



真壁悦夫

ふる里の自然や地場産業を守り、広富の産業廃棄物処理場建設に反対します。公営住宅や公共施設の要望実現、とねっこの湯不正事件の真相解明、公平公正な行政を追求します。



西尾英俊

新型コロナウイルスやオミクロン株に悩まされている昨今ですが感染症対策を充分して元気で魅力あるまちづくり、明るく活力のあるまちづくり、住んで良かったふるさとと思えるような日高町発展のため頑張ります。



菊地日出夫

昭和58年に当選して以来、学校給食実施、子どもの医療費無料化、ゼロ歳児保育、高齢者福祉の充実などの質問を行いました。委員会では甘草栽培中止、とねっこの湯の不正経理などの問題を追及しました。今後も少子化対策や高齢者福祉などの充実に取り組みます。

4月18日に、日高町議会4月会議が開かれました。改選後初めての議会で正副議長の選挙の結果、議長に神保一哉氏、副議長に高橋克徳氏が選任されました。

今回の改選で、新人議員4人を加えた新たな体制のもと、各議員に今後の抱負を語っていただきました。

議会9月会議は、9月14日から16日までの会期3日間で開催されました。一般質問には10名の議員が登壇し、町政執行について活発な議論が展開されました。日高町職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例の制定、令和3年度日高町水道事業会計決算認定を含む4事業会計の決算認定、令和4年度一般会計補正予算・特別会計補正予算などが審議され、可決されました。

また、「安倍晋三元首相の『国葬』について国会で徹底した審議を行うとともに、甲意の強要を行わないことを求める意見書」など3件の意見書が可決されました。



# 議会9月会議

## 町長の行政報告

### 被害状況報告

低気圧の影響等による8月11日、16日の大雨及び9月6日の台風11号による被害を報告します。

8月16日午前8時30分に災害対策本部を立ち上げ、避難所を5ヶ所開設しました。日高地区で最大4世帯6名の方が避難されました。被害状況は別表のとおりです。8月16日の大雨により、門別地区で3棟3世帯が床下浸水の被害を受けました。日高地区の簡易水道施設が3020万円の被害を受け、一部断水が発生しました。

8月の大雨による概算の災害復旧費用は、8月12日付及び16日付で専決処分いたしました。

### 8月大雨及び台風11号被害状況 9月9日現在

#### ●8月11日大雨被害

区分	件数	被害金額
農業被害 (田への土砂流入、農業用施設)	17ヶ所	820万円
土木被害(河川、道路)	95ヶ所	2億2000万円
小計		2億2820万円

#### ●8月16日大雨被害

区分	件数	被害金額
住家被害(床下浸水)	3棟3世帯	—
農業被害(田、ビニールハウスの冠水、飼料作物への土砂流入、農業用施設、畜産被害など)	13ヶ所	821万円
土木被害(河川、道路、橋梁、沙流川せせらぎ公園の冠水)	60ヶ所	3億6225万円
林業被害	8ヶ所	775万円
衛生施設(上水道、簡易水道、共同水道施設)	3ヶ所	3600万円
公立文教施設(富川スケートリンク、沙流川パークゴルフ場)	—	560万円
小計		4億1981万円

#### ●9月16日台風11号被害

区分	件数	被害金額
公立文教施設(門小プール上屋シート)	—	500万円

### 農業の近況

4月から7月まで、おむね天候に恵まれたものの、8月は中旬の大雨で降水量がかなり多くなったこともあり、各作物の生育は平年並みに推移しています。主要作物の7月末現在の出荷額は、前年対比8・5%減となる3億4180万円です。全体的に前年を下回る状況で推移しています。

### 漁業の近況

赤潮被害の影響が心配される場所ですが、8月末現在の漁獲量は前年対比22・4%減となる1233トン、漁獲高は前年対比1・9%減の5億2190万円となり、総体の漁獲高では前年を若干下回る状況で推移しています。



軽種馬の売上状況

※ ( ) 内の数値は日高町産馬分

セール名	開催日	馬齢	売却率	売却総額
日本競走馬協会 セレクトセール	7月11 ～12日	当歳馬	95.3% (78.5%)	128億9250万円 (12億3700万円)
		1歳馬	95.3% (81.8%)	128億7000万円 (3億5750万円)
日高軽種馬農協 セレクションセール	7月26 ～27日	1歳馬	87.3% (75.5%)	53億3830万円 (6億3635万円)
日高軽種馬農協 サマーセール	8月22 ～26日	1歳馬	77.4% (75.4%)	70億2471万円 (1億1892万円)

軽種馬市場の売上状況  
売却率と売却総額の前年  
対比は左記表のとおりです。  
本年も好調な売却率・売却  
額です。

ホッカイドウ競馬

本年度は開幕から有観客  
で開催しました。発売成績  
は9月8日までの58日間で、  
354億640万円となり、  
計画比で120%、前年比  
で96%となっています。  
9月20日から22日には  
「日高町WEEK」を開催  
します。



教育長の行政報告

中学校体育大会

7月27日から8月4日に  
開催された全道大会の結果  
は、左記表のとおりです。  
卓球女子シングルスに出  
場した門別中学校3年生の  
山田杏璃やまだ あんりさんは準優勝とな  
り、8月21日から22日にか  
けて苫小牧市で開催された  
全国大会へ出場しました。  
大会では3回戦まで進出、  
ベスト16となり、今後の更  
なる活躍が期待されます。  
(行政報告は、内容を要約  
して掲載しています。)

中体連全道大会出場結果

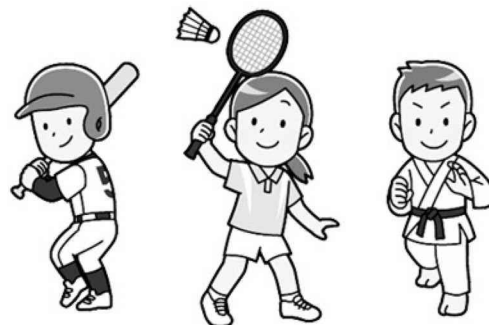
陸上競技	富川中	1年	女子1500M	予選敗退
		3年	女子100MH	予選敗退
バスケット ボール	富川中		男子	1回戦敗退
卓球	富川中	1年	男子 シングルス	2回戦敗退
	門別中	3年	女子 シングルス	準優勝 ※全国大会出場
	厚賀中	3年	男子 シングルス	1回戦敗退
バドミントン	日高中	2年	男子 シングルス	1回戦敗退
		2年	女子 シングルス	2回戦敗退
	富川中	3年	男子 シングルス	1回戦敗退
	門別中	3年	男子 ダブルス	3回戦敗退 1回戦敗退
柔道	富川中	3年	女子個人	1回戦敗退
			女子団体	1回戦敗退
	門別中	1年	男子個人	1回戦敗退
			男子個人	1回戦敗退

全国高等学校定時制通信制体育大会結果

大会	開催期間	出場者・チーム	結果
第55回卓球大会 《東京都世田谷区》	7月26 ～28日	ののむら あやか 野々村 優花 さん (日高等学校1年生)	女子シングルス ベスト32

スポーツ大会結果

大会	開催期間	出場者・チーム	結果
阿波おどりカップ全国学童 軟式野球大会 《徳島県徳島市》	8月17 ～21日	野球スポーツ少年団 JBC日高ブレイヴ	ベスト8



# 議決案件

報告

報告済

## ◆令和4年度補正予算 専決処分の報告

	補正額	歳入歳出総額
一般会計（第5号）	9330万円増	112億5022万円
一般会計（第6号）	1億9013万円増	114億4035万円
簡易水道会計（第2号）	2500万円増	9245万円

### ●主な内容

<b>一般会計（第5号）</b>	
現年単独災害復旧工事増	3000万円
現年補助災害復旧工事	5230万円
<b>一般会計（第6号）</b>	
簡易水道事業会計補助金増	2500万円
公共土木施設災害復旧工事測量調査設計業務委託増	7835万円
現年単独災害復旧工事増	4600万円
現年補助災害復旧工事増	3600万円
<b>簡易水道会計（第2号）</b>	
災害復旧（応急分）に伴う燃料費・委託料・修繕料等増	2500万円

- 令和3年度
  - ▼健全化判断比率の報告
  - ▼資金不足比率の報告
  - 日高町水道事業
  - 日高町簡易水道事業
  - 日高町下水道事業
  - 日高町国民健康保険病院事業
- ※各会計、地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の問題はありませぬ。

## ▼令和3年度企業会計決算

会計名		収入	支出	差引
水道	収益的収支	3億6413万円	3億2131万円	4282万円
	資本的収支	4億2700万円	5億2536万円	△9836万円
簡易水道	収益的収支	7463万円	7351万円	112万円
	資本的収支	2127万円	4076万円	△1949万円
下水道	収益的収支	5億3466万円	5億241万円	3325万円
	資本的収支	2億4319万円	4億208万円	△1億5889万円
病院	収益的収支	15億1225万円	15億3966万円	△2741万円
	資本的収支	1億8414万円	2億1330万円	△2916万円

認定

認定済

※ 資本的収支の差引き不足額は、内部留保資金等で補てんしています。

### 内部留保資金・・・

減価償却費等の現金支出がない費用計上によって生じた資金のこと

議案

原案可決

発議

委員会付託

▼世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の霊感商法などによる被害者を救済するとともに、政治との癒着を究明することを求める意見書

（提出者）真壁悦夫議員

▼日高町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

（変更前）

育児休業取得回数…原則1回

産後パパ育児取得可能回数…1回

（変更後）

育児休業取得回数…原則2回

産後パパ育児取得可能回数…2回

非常勤職員の取得要件の緩和、規定整備



## ◆令和4年度補正予算 原案可決

	補正額	歳入歳出総額
一般会計（第7号）	4億8398万円増	119億2434万円
富川国民健康保険診療所事業特別会計（第3号）	58万円増	1億5098万円
介護保険事業特別会計（第2号）	9146万円増	13億7297万円
水道事業会計（第2号）〔収益的収入〕	197万円増	5815万円
簡易水道事業会計（第3号）〔収益的収入〕	17万円増	5270万円
下水道事業会計（第3号）〔収益的収入〕	1140万円増	5億3755万円
〔収益的支出〕	176万円増	5億1943万円

### ●主な内容

#### （一般会計）

積立金増	1億6354万円
過年度分国庫支出金等返還金	1190万円
感染症対策費委託料増	2730万円
農業振興費負担金補助及び交付金	6641万円
町道維持管理及び除雪業務委託増	3000万円
長期債元金増	1億7440万円

#### （富川国保診療所会計）

支払消費税増 58万円

#### （介護会計）

積立金 2141万円

過年度介護給付費国庫負担金等返還金 7005万円

#### （水道会計）

〔収入〕 過年度消費税過誤納還付金 197万円

#### （簡易水道会計）

〔収入〕 過年度消費税過誤納還付金 17万円

#### （下水道会計）

〔収入〕 過年度消費税過誤納還付金 1140万円

〔支出〕 R2消費税修正申告追徴分 171万円



可決した意見書は関係機関に送付しました。  
(内容は要約しています。)

### ■道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

原案可決（提出者 高橋克徳議員）

「配置計画」によって地元の高校を奪われた子どもたちは、遠距離通学や下宿生活等を余儀なくされ、精神的・身体的な負担が増大するとともに、保護者もまた経済的負担が大きくなっています。

地域の高校存続を基本に、希望するすべての子どもにゆたかな後期中等教育を保障していくべきです。そのためには、地域の意見・要望を十分反映させ、地域の経済・産業・文化の活性化を展望した新たな「高校配置計画」「高校教育制度」を創り出し、ゆたかな高等教育を実現するため検討をすすめることを求めます。

### ■安倍晋三元首相の「国葬」について国会で徹底した審議を行うとともに、弔意の強要を行わないことを求める意見書

原案可決（提出者 菊地日出夫議員）

戦後、吉田茂元首相の国葬が法令の根拠がないままに、政府の閣議決定によって実施されましたが、その後の「国葬」の議論の際には、内閣法制局から「法的根拠が明確でない」と指摘もされ、実施されてきませんでした。それにも関わらず、安倍元首相の「国葬」を実施することは、政府の今までの対応とも矛盾します。

「国葬」を実施することによって安倍元首相への弔意を求めることは、個々の国民に対して弔意の事実上の強制につながりかねず、憲法で保障されている「思想・信条の自由」を侵すことになりかねません。

政府は、9月27日に予定している「国葬」を再検討し、国会で徹底した審議を行うとともに、弔意の強要を行わないようにすることを求めます。

### ■国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

原案可決（提出者 議会運営委員長）

北海道は、豊かで美しい自然環境に恵まれ、広大な大地と海に育まれた豊富で新鮮な食を強みに我が国の食料供給を担うとともに、本道特有の歴史・文化や気候風土などを有しており、こうした北海道ならではの独自性や優位性を生かしながら、将来にわたって持続可能な活力ある北海道の実現を目指している。

国土強靱化に資する社会資本の整備・管理が長期安定的に進められるよう、公共事業関係予算の所要額を確保するとともに、地域の実態に鑑み予算を重点配分すること、橋梁・トンネル・舗装等のメンテナンスサイクルを確立することを求めます。



菊地日出夫 議員

## 『新たな住宅リフォーム条例の制定を』

### 〔住宅リフォーム条例〕

**問** 胆振東部地震から4年になりますが、今も住宅の修繕が必要な世帯が多く残っています。特に富川地区は被害が大きく、生活に支障があっても我慢している世帯が多くいます。

**答** 現在心配されているのは、マグニチュード9クラスの日本・千島海溝地震と津波であり、日高町では最大16・3メートルの津波が予想されています。そのような災害が起きる前に、耐震などの工事が必要と考えます。住宅リフォーム補助条例の制定を求めます。

**問** 当町において平成25年度から町民が安全で安心して快適に暮らすための住宅リフォームを促進するため、費用の一部を補助する

ることにより、住環境の向上と町内産業の活性化を図ることを目的として、日高町住宅リフォーム促進に関する条例を制定しました。

**問** 住宅リフォーム促進に関する条例を制定しました。住宅耐震改修、省エネ・バリアフリー改修のリフォーム工事を対象に補助金の交付を3年間行い、その後住宅修繕工事を対象工事に追加、期間を令和4年3月31日まで延長し、9年間で346件(8345万円)の補助金を交付しています。事業実施期間内に一定の成果があったものと考えられることから、新たな住宅リフォーム条例を制定する予定はありません。

**問** 住宅リフォーム条例9年間の実績は346件で8345万円の補助金です。町民の方も大変助

かったという方もいます。その期間中の全工事額はどのくらいでしょうか。

**答** 補助対象工事としては、9年間の全体で4億2168万円です。工事の全体、対象工事以外の工事を含めると4億7280万円となります。

**問** 町が発注する工事と違って個人が発注するというところで、4億円以上の経済効果があったということだと思えます。胆振東部地震で、一部倒壊世帯が446件ですから、被災した全ての世帯が利用しては

いないと思われま。そういう点ではこれからの耐震も含めた工事が必要ではないかと思えますが、いかがですか。

**答** 胆振東部地震で住宅が損壊した方々の全ての方が直したという認識はしておりません。また、改修した方が逆に町の補助金を申請したかというところ、そういうわけではないと思いますので、実際地震に対しての改修があったかどうかという実件数については分からないのが現状です。







工藤 守弘議員

## 『スポーツ大会出場助成の見直しを』 『脱炭素化の取り組みは』

### 日高町スポーツ全道・全国・国際大会出場助成

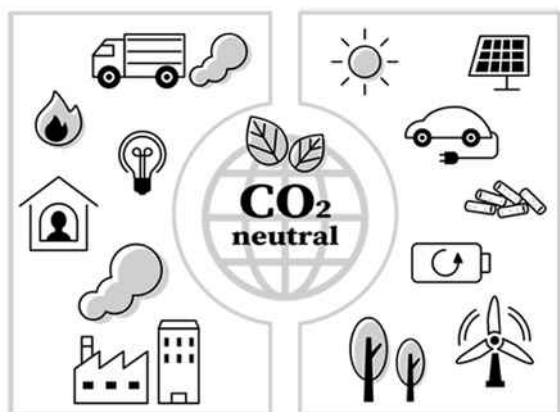
対象項目	借り上げバスや自家用車利用、高速料金、公共交通機関料金の交通費、宿泊費、大会参加費等	
対象項目	助成対象	助成割合
交通費と宿泊費	小学生から高校生までを対象とした大会	2分の1
	一般を対象とした大会	3分の1
大会参加費等	小学生から高校生までを対象とした大会	全額
	一般を対象とした大会	2分の1

※ 助成金の限度額は、1団体あたり25万円  
 ※ 当助成金と同様の補助金等がある場合は対象外  
 ※ 寄付金等を得た場合は算出した助成金から控除

**【日高町スポーツ全道・全国・国際大会出場助成】**  
**問** 町の大会出場助成基準はどうなっていますか。  
**答** 全道大会は地区予選を勝ち抜き出場権を得た団体・個人、全国大会は全道大会を勝ち抜き出場権を得た団体・個人、または出場条件として標準タイム・バッジ級が開催要項に記載され、その条件を満たし出場が認められたものとしています。  
 対象項目と助成割合は、左記表のとおりです。

**問** 助成限度額のあり方や寄付金を得た場合の助成金からの控除等について見直しを検討してはどうか。  
**答** ご指摘のとおり助成金の限度額の25万円については、個人種目なら十分かもしれませんが、団体競技の場合は1人当たりの助成が薄くなつてしまいます。今後、助成金のあり方について検討します。

**【脱炭素化の取り組み】**  
**問** 政府による「2050カーボンニュートラル宣言」を受けて、地球温暖化対策推進法が改正され、地域でも脱炭素化への取り組みが求められています。当町ではどのような取り組みを考えていますか。  
**答** 当町が所有する各施設において、照明のLED化、公用車の低燃費車の更新、新たに建築される富川市街地複合施設においても、再生可能エネルギー等の活用を検討しています。



**【脱炭素化社会】**  
 地球温暖化の原因となる代表的な温室効果ガスである二酸化炭素の排出量をゼロにしようという取り組みのこと。  
 また、二酸化炭素排出が実質ゼロになった社会のことを「脱炭素社会」という。地球温暖化の加速を受けて、世界全体で脱炭素に向けた取り組みが推進されている。

今後の課題は、脱炭素化の取り組みについて各課と方向性を共有しながら、普及・拡大していくことや、民間事業者・住民等に対して脱炭素化の利用の取り組みについて周知していくことを考えています。  
 (この他に「マイナンバーカード交付状況等について」質問を行いました。)



白石 典昭議員

『とねっこの湯及びとねっこの館の公金管理は』

【公金管理不正運営】

**問** 文書開示請求により、令和4年1月7日に町

から「平成24年度の第1四半期4月から6月までの発券に係る調定内訳簿・発券売上集計表（月計）」、「平成24年度の第1四半期4月から6月までに発行した領収書」が情報公開された。

平成23年の終わり頃から平成29年11月までの町発行の領収書が売上集計表と一致しなかった。公金の管理が不正と考えるが、町としての見解を伺いたい。

**答** その期間の入浴券の取り扱いは、購入した方で領収書が必要だと申し出のあった場合に交付する

かたちでした。売上集計表は、券売機での売上を集計し、町に引き継がれていたもの

であり、領収書と売上集計表は一致しないものであるため、公金の管理に不正があったとは考えていません。

**問** 宛名、金額、日付は記入せず、日高町出納員及び印を確認できる領収書を一般の事業者に渡していたとのことですが、これはまともな公金管理と言えますか。

**答** 町の方から契約行為を交わして、公金管理を含め事業を委託していた業者にお渡ししていたものであり、一般の業者とは考えていません。便宜上、領収書が必要な方に発行してはしていません。

**問** 今回の一般質問に関して配布した資料を確認願います。領収書が連番で

あるのにも係らず、No. 32664（10万5千円）の領収金額が一覧表と入金がない不自然さ、さらにはこの状態を6年間も続けてきたということについて、どう考えますか。

**答** 当時、適切だと判断して取り扱いをしていました。領収書についてもハシロを押して業者の方に渡し、「この領収書でお金の引き受けはしないこと、券売機で買ったものに対する領収書として発行する」という指示をしてきたものであり、不正とは考えていません。

**問** 二度とこのようなことを起こさないためにも、公金、金銭の取り扱いをきちんと職員に徹底させる旨を約束をしていただきたい。

**答** 既にきちんとやらせています。何年間も多くの方と議論しているため、当町の管理職と職員も公金の取り扱いの重要さは身にしみています。

●領収書(控)の日付と集計表の情報が一致しない。

▼当日資料として配付された、文書開示請求により公開された公金管理不正が疑われる領収書(控)



券売機売上集計表（月計）

年月日	曜日	スパ・ソルカ・ボン(50枚綴り)	
		枚数	金額
2012/6/17	日	2	35,000円

※ 原本を加工して掲載しています





葛 守 議員

## 『歯科医院数の減少対策は』 『有害鳥獣駆除対策は』

### 【歯科医院数の減少】

**問** ここ数年間で閉院した歯科医院の閉院理由は確認されたか。

**答** 歯科医師の高齢化、スタッフの確保が困難になったことが原因と確認しています。

**問** 高齢化等により現在の医院も閉院する可能性はあると思うが、今後の対策についてどのように考えているか。

**答** 歯科健診等々でご協力いただいている中で、いろいろ話していますが、閉院するような話は聞いておりません。今後は閉院等も視野に入れながら、町全体の歯科健診事業をどのようにしていくか、常に考えていきます。

**問** 来年度、新たな歯科医院が開設になる予定とお聞きしましたが、時期や場所の情報は押さえていますか。あくまでも予定ですが、来春、富川地区の国道沿いに、と聞いています。

### 【有害鳥獣駆除対策】

**問** 全道的に野生鳥獣による被害が発生しており、深刻な状況です。令和元年度から令和3年度の有害鳥獣の捕獲及び駆除した実績数・農業被害額は。

**答** 左記表のとおりです。

**問** 町として具体的な対策を講じていく考えか。

**答** 管内各町とも情報共有をしながら効果的な対策を模索している状況です。抜本的な解決策を見いだすことができておりませんが、現状の駆除事業を引き続き実施していきます。

**問** 水稲・牧草だけで毎年7〜8千万円の被害が報告されており、農家にとつて大きな打撃です。国道付近・市街地の対策として大規模な罠の設置は検討されたか。

**答** 市街地は銃での駆除はできない地区のため対応が難しいです。過去に囲い罠の設置を数年行いましたが、あまり効果は見られませんでした。

◎有害鳥獣の捕獲及び駆除数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
エゾシカ	2,436頭	2,635頭	3,437頭
ヒグマ	14頭	15頭	28頭
アライグマ	854頭	1,054頭	974頭
キツネ	267頭	193頭	200頭
タヌキ	487頭	497頭	378頭
カラス	128羽	139羽	136羽
ハト	23羽	24羽	14羽

◎有害鳥獣による農業被害額

	農業被害額
令和元年度	92,901千円
令和2年度	78,310千円
令和3年度	80,827千円
3ヶ年合計	252,038千円

**問** 鳥獣保護法では市街地での狩猟駆除は禁止されているが、「警察官職務執行法」では駆除できる場合もある。検討されたか。

**答** 警職法では『人に危害を加える動物を駆除するとき、通常では禁止されている場所や時間帯であっても現場の警察官の判断で猟銃を所持しているハンターへ駆除を命ずることが可能』となっています。現場の警察官に緊急性の有無の判断が委ねられていますので、一概に「市街地に出没したシカやヒグマ等を駆除する」ことにはつながらないと考えています。

(この他に「深刻な農家の声を酌み取り、酪農家や軽種馬産業等を守り、猟銃駆除以外のくくりわな・大型わなでも適切な対処すること」を要望、「町職員を対象とした研修等の強化と経費の公表について」質問を行いました。)



井上 義生 議員

# 『持続可能な財政運営は』 『在宅福祉サービス充実のための取り組みは』

## 【財政運営】

**問** 公共施設の維持管理費が財政を圧迫していませんか。

**答** 合併したことで施設数度分の施設維持管理費は円安や最低賃金のアップなどで、今後かなり上昇すると思われる。

**問** 経常収支比率、実質公債費比率の推移と現状は。

**答** 令和4年度は普通交付税及び臨時財政対策債が前年度より減額する見込みから、経常収支比率、実質公債費比率の数値は高まると考えています。

公債費は令和4年度がピークで、令和5年度以降は少しずつ減っていく予定ですが、新規事業が多くな

れば経常収支比率の公債費が増えるため、長期的視点で事業を行っていかねばと考えています。

**問** 基金は家計でいえば貯金であり、ここ数年減少していますか。

**答** 基金を崩さない限り予算が立てられないのが現状です。令和2年度決算

基金は家計でいえば貯金であり、ここ数年減少しています。日高町の予算規模でどのぐらいの基金（貯金）があればいいのでしょうか。

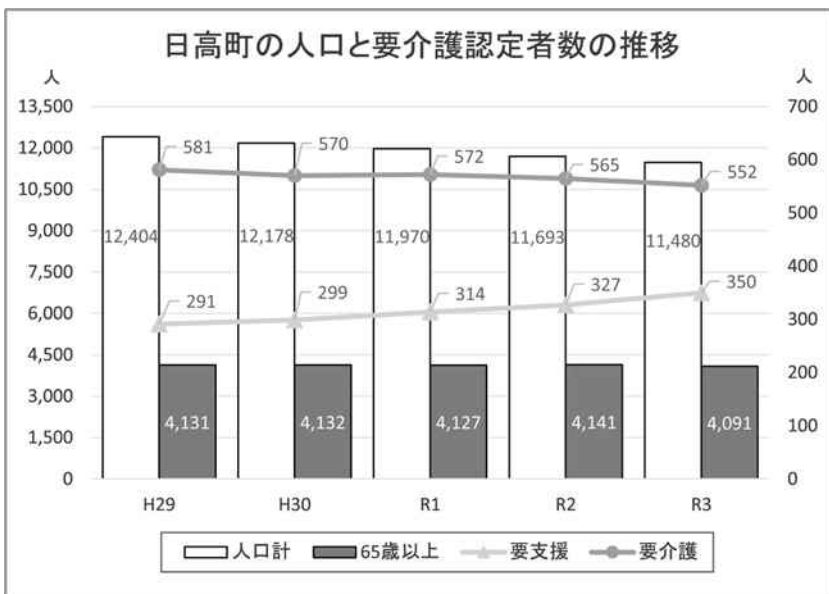
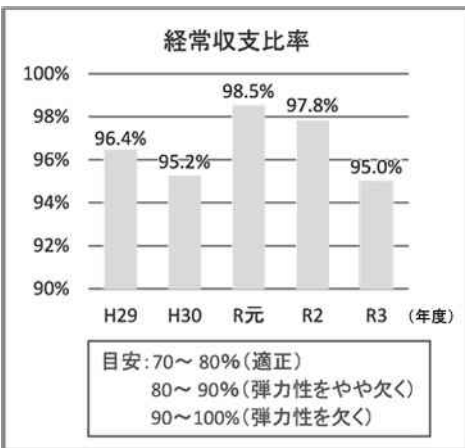
では、道内町村の標準財政規模に対する基金の割合は平均86・8%、全体を70億円と仮定すると基金は56億円程度となります。日高町は基金全体で32・7%なので、割合は低いと考えられます。

**問** 65歳以上の人口は横ばい傾向ですが、要介護認定者の割合が増えているのは何故ですか。

**答** 65歳以上の人口は減少傾向ですが75歳以上の人口と要介護認定者数は横ばい、もしくは微増しています。要支援1・2の方は令和2～3年度間で23名増です。要介護1～5の要介護者は13名の減、要介護度5の方は19名の減で、全体の給付費は下がっています。

**問** 介護予防事業の取り組み内容は。

**答** 門別本町の「もんちゃんの家」では介護・認知症・閉じ籠もり予防、昼食会や茶話会、菓子作りなどが開催され、令和3年度は2094人の参加がありました。他にも高齢者の集いの場となるサロン等があります。介護予防事業で運営費の負担等を行っており、今後も支援していきます。





小園 暁子議員

## 『逼迫する町の財政は』 『小・中学生の学力向上は』 『巨大地震への備えを』

### 【町財政】

**問** 財政運営の基本は基金の繰入を前提としないことと思いますが、令和2年度だけで3億円以上減っており、単純計算では令和9年頃には底をつきます。支出のスリム化については、令和3年度では、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は95・0%、公債費の負担状況を示す実質公債費比率は12・3%と財政の硬直化が進みつつあるため、見直しが急務であると考えています。

**答** 令和2年度の歳出合計126億円に対し、基金の合計は約22億円です。今年度は災害で多くの支出が見込まれるため、予測される大地震等が実際に発生すると破綻する恐れがあります。まだ無駄な支出が多いのではないですか。

**答** さらに見直し財政の健全化に向け努めます。補正予算の考え方が、最近では不足す

**問** 補正予算の考え方が、最近では不足す

ば補正で資金を出してもらえるところの思考傾向が強いように感じます。

**答** 補正予算の使用については、地方自治法210条にて総計予算主義により1年間の予算をできるだけ正確に組み、災害等予測できない非常事態のような特別な場合に用いることが望ましいものと考えます。

**問** 【学力向上の取り組み】全国学力学習状況調査の結果は。

**答** 左記表のとおり、全国平均と比べ、小学校6年生は前年度より国語と算数の差が縮まっています。中学3年生は全教科で全国平均を上回っています。

### 【学力向上の取り組み】

**問** 左記表のとおり、全国平均と比べ、小学校6年生は前年度より国語と算数の差が縮まっています。中学3年生は全教科で全国平均を上回っています。

**答** 平均と比べ、小学校6年生は前年度より国語と算数の差が縮まっています。中学3年生は全教科で全国平均を上回っています。

**問** 6月会議で修正された検定試験料のルール作りは。

**答** 児童生徒の学習意欲向上を目的とした「日高町各種検定料補助金交付要綱案」が6月の会議にて決定されました。保護者等には学校を通じて周知し、町のホームページ、広報9月号にも掲載されています。

**問** 児童生徒の学習意欲向上を目的とした「日高町各種検定料補助金交付要綱案」が6月の会議にて決定されました。保護者等には学校を通じて周知し、町のホームページ、広報9月号にも掲載されています。

### 【避難訓練・防災】

**問** 巨大地震に備えた避難訓練や防災に関する講演会などの実施状況は。

**答** 避難訓練は保育所等で4カ所、一日防災学校は7校で実施、7月には「地震、津波の知識と防災情報」等について室蘭地方気象台専門官による講演会を開き、75名の参加がありました。

**問** 新ハザードマップの作成状況と周知は。

**答** 令和3年7月に道が公表した津波浸水想定に基づき、区域を見直して本年7月にはマグニチュード9クラスの巨大地震の被害想定が新聞にて報道されています。今後、改めて周知に努めます。

**問** 巨大地震に備えた避難訓練や防災に関する講演会などの実施状況は。

**答** 避難訓練は保育所等で4カ所、一日防災学校は7校で実施、7月には「地震、津波の知識と防災情報」等について室蘭地方気象台専門官による講演会を開き、75名の参加がありました。

**問** 新ハザードマップの作成状況と周知は。

**答** 令和3年7月に道が公表した津波浸水想定に基づき、区域を見直して本年7月にはマグニチュード9クラスの巨大地震の被害想定が新聞にて報道されています。今後、改めて周知に努めます。

**問** 巨大地震に備えた避難訓練や防災に関する講演会などの実施状況は。

**答** 避難訓練は保育所等で4カ所、一日防災学校は7校で実施、7月には「地震、津波の知識と防災情報」等について室蘭地方気象台専門官による講演会を開き、75名の参加がありました。

**問** 新ハザードマップの作成状況と周知は。

**答** 令和3年7月に道が公表した津波浸水想定に基づき、区域を見直して本年7月にはマグニチュード9クラスの巨大地震の被害想定が新聞にて報道されています。今後、改めて周知に努めます。

【全国学力状況調査結果】  
全国の平均正答率との差  
単位:P(ポイント)

	小6	中3
国語	-0.6 P	+2.0 P
算数・数学	-1.2 P	+0.6 P
理科	+0.7 P	+1.7 P





堂前 保志 議員

## 『地方公務員の定年引上げの実施は』

### 〔定年引上げ〕

**問** 定年引上げの必要性をどのように考えていますか。

**答** 年金の支給開始年齢が引上げられ、これまでの60歳定年であれば年金開始の65歳まで間が空いてしまいます。そのため、現在の再任用制度に変わり、改めて定年引上げをして働く方の保障をする制度と考えています。

**問** 定年引上げによる職員へのメリット、デメリットは。

**答** 60歳後の給与水準は定年時の7割となりますので、給与や手当が再任用職員より高くなるのがメリットとして考えられます。デメリットは職場全体としてとらえると、会計年度

職員・新規採用職員の採用の抑制が懸念されます。

**問** 管理監督職員の役職定年制の導入、例外規定を設ける考えはありますか。

**答** 基本的に国家公務員のとおり行う予定です。また、現在医師は定年が65歳ですが、国は70歳に引上げますので同様に引上げが必要と考えています。

**問** 定年引上げ後の具体的な職務は。また、人事異動は考えられますか。

**答** 一般行政職で給料表5・6級の管理職は非管理職となります。3級の場面もあります。基本的に4級で主幹職となります。どの職場か、どのような配置かは、今後検討します。場合によって人事異動はあり得ると考えています。

**問** 定年引上げ後の賃金は7割水準を確保する考えとのことですが、管理監督職であった職員の定年後の格付けはどうなりますか。

**答** 職員が60歳に達した日の後の最初の4月1日以降に7割水準とする予定です。管理監督職の職員には管理監督職以外の職への降任となりますが、具体的な方法は現在検討中です。

**問** 令和13年度までの定年引上げ期間中は、毎年度新規採用を行う計画はありますか。応募がない場合、民間経験者の採用も積極的に行ってはいかがですか。

**答** 現在も年齢階層によって偏りがある職員配置とを考えています。極端に偏ると今後の町政運営に影響が出てしまいます。民間の社会人枠で中途採用も行っていますが、年度によっては定年延長希望の方、再任用希望の方の人数によっては新規採用を抑制することもあると思います。

**問** どちらにしても定年延長が完成する令和13年度までは、一定程度職員が増えることもやむを得ないと考えています。

**答** 60歳以降は、特に医療、介護、保育職場は身体的に業務が困難になってきます。事務職でも健康対策、健康管理が一層重要になってくると考えますが、対応策を検討していますか。

**問** ご指摘の職場については大変厳しくなる状況は認識していますが、現状を維持する考えです。

**答** また、事務職に関しても、わが町でどのような対応ができるのか、何が望まれているのか、確認しながら取り組めるものがあれば検討します。





真壁 悦夫議員

## 『無料低額診療事業の町民への周知を』



**【治療遅れによる死亡事例】**  
 「経済的事由で治療が手遅れになって死亡した事例」の全国調査結果(全日本民医連による調査)では22都道府県で令和3年度1年間に45件発生しており、そのうち男性は80%、女性が20%、年齢は60〜70代が65%を占めました。  
 雇用形態では、非正規雇用者が39%、無職者が39%で両方で7割になります。短期保険証も含め保険証を持っていない方が23件(51%)であり、保険証があっても医療費を払えないために受診できない実態が伺えます。救急搬送された方が18件と最も多く、我慢の限界を

### 【無料低額診療事業】

収入が生活保護基準の120%以下の方は医療費無料、140%以下の方は低額にするという事業。

#### ■対象となる方

- ・生活に困っていて医療費にまわせるお金がない人
- ・国民健康保険料を滞納して「短期保険証」や「資格証明書」の発行を受けている人
- ・在留資格のない外国人(不法滞在の状態)も含めた無保険の人
- ・DV(家庭内暴力)被害者で保険証が使えない人

#### 実施する医療施設

- ①患者の医療費自己負担分を免除
- ②医療費の保険診療分は診療報酬として各保険者から支払われる
- ③医療施設の固定資産税が減免される

超えて搬送されるという事例が報告されています。このような経済的事由による死亡事件は、当町でも起こっているのでしょうか。  
**答** 経済的理由で医療機関を受診できないというご相談はありませんが、生活自体が苦しいとか、お子さんの養育費にお金がかかるなど、様々なご相談をいただくことはあります。

**【無料低額診療事業の周知】**  
 医療費の支払いをする、と生活が困難になる、失業により収入が無くなつて医療費が払えない、独居で国民年金しか所得がないという方々のほとんどが無料低額診療事業の対象になります。  
 近隣では富良野協会病院などの全国福祉医療施設協議会や、北海道勤医協病院

などが事業を実施しています。お金が無くて病院に行けず亡くなるという事例を出さないために、当町でもぜひこの制度を町民にお知らせ願います。

**答** 町としては生活困窮の方々に対する相談支援を「相談室みんなのそら」

が行っており、社会福祉協議会への相談や利用可能な支援制度の紹介、さらに厳しければ生活保護の相談も受け付けています。無料低額診療事業も生活困窮者に対する事業として、広報による周知も検討していきたいと考えます。

(この他に「公営住宅の運営について」「とねっこの湯の運営について」「町道の維持管理について」質問を行いました。)



互野 利夫議員

# 『日高町の観光振興は』

## 【観光施設の利用】

**問** 日高地区観光施設の平成30年から令和3年までの利用実績は。

**答** 左記の通りです。

日高地区観光施設等利用状況 単位:人

年度	スキー場	高原荘		キャンプ場	道の駅
		宿泊	入浴		
H30	227,891	11,124	28,066	13,817	254,061
R1	181,309	8,928	26,071	16,262	245,604
R2	171,871	7,408	16,095	13,280	189,297
R3	141,080	5,841	14,691	13,163	168,079
H30・R3 対比	△ 86,811	△ 5,283	△ 13,375	△ 654	△ 85,982
率	△ 38.1%	△ 47.5%	△ 47.7%	△ 4.7%	△ 33.8%

## 【日高地区の観光】

**問** 施設ごとに減少した理由がありますか。

**答** スキー場はスキー人口の減少とコロナ禍の影響です。高原荘も同様の原因と思われます。

**問** 昨シーズンも職員住宅を貸付しており、希望者がいれば本年も活用したいと考えています。

**答** 総合支所職員は限られた人数しかいないため、スキー場運営には寝ないで仕事をしているとも聞いています。本庁職員から支援はできないでしょうか。

## 【日高地区の観光】

**問** 日高地区にて「雪の活用」で観光振興をすることを考えているのでしょうか。

**答** 他町にて雪と共生する「輝け雪のまち宣言」がされ、各種団体等で推進しているとの報道がありました。



**問** スキー場の第4リフトの今シーズンの運行予定は。

**答** リフト要員の確保が困難ですが、業者委託も含めて努力をします。

**問** 本庁からの職員派遣は現実的でないと思われるので、他の要員確保策に力を入れるべきと考えています。

**答** 高原荘の具体的改修計画は。

**問** リフト要員の確保には町外にも募集を広め、遠方の方には職員住宅や町の空き家を優先的に貸付する方法を考えてはいかがでしょうか。

**答** 大規模改修は財源の確保ができません。現段階では困難ですが、浴室のボイラー取替を実施します。

**問** スキー場については、要員が確保できたとしても観光客の呼び込みは困難です。しかし、コロナ禍であっても努力を続けていきますか。

**答** 観光の振興策は、国立公園になった場合は、国立公園内のスキー場となり、宿は高原荘、キャンプ場となります。国立公園化を起爆剤に一大キャンペーンを行うことができれば、多少は持ち直せる要素は出てくると考えています。

国立公園は、環境省が来年8月の各審議会での最終的決定を行うため、年内にエリア確定しなければなりません。当町も入れる要望を出す必要があります。

国立公園になった場合は、国立公園内のスキー場となり、宿は高原荘、キャンプ場となります。国立公園化を起爆剤に一大キャンペーンを行うことができれば、多少は持ち直せる要素は出てくると考えています。





高橋 克徳議員

## 『町職員の兼業は』 『タイムカプセルの開封は』

### 【職員の兼業】

**問** 日高振興局では今年6月から、地域課題解決につながる活動の副業を解禁したが、当町での取り組みの検討進捗状況は。

**答** 兼業の許可制度については、これまで通り主に統計調査の兼業許可を行っております。申請内容によっては職務専念の義務の免除を行っております。

また、日高振興局にて、地域課題解決につながる副業に従事する職員を「ナナイロひだかサポーター」として任命する制度が導入されましたので、今後、北海道や他市町村の動向を見ながら検討します。

**問** 社会貢献活動等の人事評価への反映は。

**答** 多岐多様な社会貢献活動があり、業務内容とその成果に対する評価などが難しいことから導入は困難と考えています。

### 【自治体職員自身】

**問** 『自治体職員自身が一町民』としてしっかり地域に飛び出し活動に汗を流さないと他の町民に対して説得力がないという自治体3・0という取り組みと、一次産業の人材不足についての考えは。

**答** 職員が町内会活動・PTA活動等に参画していることは承知してはいますし、大事なことだと認識しています。また、一次産業の人材不足についても日高振興局の取り組み等を参考に、今後検討して行かなければならないことだと考えています。

### 【自治体3.0】

まちづくりを行政だけで担おうとせず、民間事業者や市民など、広い層と進める取り組みのこと。

自治体職員が市民と一丸となって汗をかき、みんなの課題をみんなで解決していくことがコンセプト。

### 【タイムカプセルの開封】

**問** 平成4年に設置されたタイムカプセルが30年ぶりに開封されますが、当作品を収められた方の名簿はありますか。

**答** 当時のものはありません。

**問** 9月17日に開封とのことですが、当日の具体的な実施方法は。

**答** 午前10時30分から開封作業を実施し午後3時まで内部を公開します。収納物は郷土資料館に保管し、名簿の作成やカビ・汚れなどの状態の確認作業に1ヶ月程度を要すると考えています。

**問** お渡しできる準備が整いましたら改めて町広報、ホームページ、新聞等にてお知らせし、本人確認を行ったうえでお返しいたします。

**問** 開封後のタイムカプセルの活用は。

**答** 今後、関係各課で活用について協議します。



◀▲タイムカプセルとその収容物

# 7月会議

令和4年7月5日

議案

原案可決

## ▼工事請負契約

令和4年度メンテナンス  
事業橋梁長寿命化修繕工事  
(川越橋)

## ○工事場所

沙流郡日高町字豊郷地内

## ○工事の概要

橋梁補修 (L1151・7m)

## ○工期

契約締結日の翌日から

令和4年12月20日まで

## ○契約金額

6270万円

## ○契約の相手方

株式会社磯田組

## ▼スクールバスの取得

## ○契約金額

2281万円

## ○契約の相手方

株式会社伊藤商会

スズキアリーナ富川

## ◆令和4年度補正予算

	補正額	歳入歳出総額
一般会計 (第3号)	1億5074万円増	111億4892万円

### ●主な内容

地域応援商品券発行事業補助金	1億2370万円
富川西南1号線外3路線道路整備工事増	1740万円



## ◆令和4年度補正予算

下水道会計 (第2号)  
第4条の次に「継続費」を追加

事業名	総額	年度	年割額
ストックマネジメント 計画更新工事 (協定・富川浄化センター)	2億900万円	令和4	4000万円
		令和5	1億6900万円

# 7月第2回会議

令和4年7月29日

## 町長の行政報告

### ジャパンダービー

7月13日に大井競馬場で行われた3歳交流重賞の最高峰とされている「農林水産大臣賞典第24回ジャパンダービー(JpnI)」にて、(有)下河辺牧場生産のノックトゥルノ号が競り合いを制し、GIレース初優勝を果たしました。

(行政報告は、内容を要約して掲載しています。)



## ◆令和4年度補正予算

	補正額	歳入歳出総額
一般会計 (第4号)	800万円増	111億5692万円

### ●内容

現年単独災害復旧事業	800万円
------------	-------

議案

原案可決

# 議案等賛否一覧表

(賛否が分かれた議案等のみ掲載、掲載されていない議案等は全会一致で可決しています。)

会 議 名	提 出 者	議 員 名	議 決 結 果	高	堂	井	渡	薦	白	小	梅	互	工	真	西	菊	神
				橋	前	上	部		石	園	木	野	藤	壁	尾	地	保
案 件				克	志	生	力	守	昭	子	聡	夫	弘	夫	俊	日出	一
9 月 会 議	議員	安倍晋三元首相の「国葬」について国会で徹底した審議を行うとともに、弔意の強要を行わないことを求める意見書	可決	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	※議長

○：賛成    ×：反対    欠：欠席    退：退席

※議長は表決権がない（可否同数の場合は議長に採決権が認められる）



## 議会傍聴に行こう

会議当日に議場傍聴席入り口の受付にて、氏名等をご記入いただくだけで傍聴できます。

※ 議会ライブ中継はYouTubeで、配信試行しています。

また、下記QRコードから過去の議会〈令和元年6月会議（1日目）～令和4年9月会議（3日目）午後〉も視聴できます。



◀ 携帯電話のカメラをかざすと日高町議会事務局の投稿動画一覧のページが表示されます



次に一般質問がある会議は12月です。



## ● 議会のうごき ●

【7月】

- 5日 議会運営委員会、議会7月会議
- 6日 北海道町村議会議員研修会（札幌市）
- 10日 静内駐屯地創設58周年・第七高射特科連隊創隊41周年記念行事（新ひだか町）
- 12日 全員協議会
- 20日 日高総合開発期成会要望活動（室蘭市）
- 21日 日高総合開発期成会要望活動（札幌市）
- 26日 議会運営委員会
- 29日 議会7月第2回会議

【8月】

- 10日 石巻市議会行政視察

【9月】

- 2日 全員協議会
- 4日 令和4年度無縁佛供養祭・アイヌ文化交流会（富川西）
- 7日 議会運営委員会
- 14日 議会9月会議（1日目）
- 15日 議会9月会議（2日目）
- 16日 議会9月会議（3日目）

【10月】

- 5日 議会運営委員会、議会10月会議

## 委員会活動

広報広聴常任委員会

9月14日、9月30日、10月5日 議会だより

門別小学校・中学校改築に関する調査特別委員会

7月12日、7月26日、8月23日 所管事務調査  
7月29日 現地調査：門別小学校、門別中学校、  
建設候補地（2ヶ所）



## 一部事務組合

日高西部消防組合議会

6月23日 令和4年第3回臨時会  
8月1日 令和4年第4回臨時会

平取町外2町衛生施設組合議会

9月9日 令和4年第3回定例会



発行 北海道日高町議会  
発行日 令和4年10月21日  
編集 広報広聴常任委員会  
真壁 悦夫 鳶 守  
工藤 守弘 梅木 聡  
渡部 力 井上 義生  
堂前 保志  
住所 〒059-2192  
北海道沙流郡日高町門別本町210-1  
TEL 01456-2-6500 FAX 01456-2-5611

## 議会ライブ中継！！

ユーチューブ

YouTubeで、配信試行しています。

会議当日に議場へ傍聴に来れない方でも、今後、開催される会議はこちらでご覧になれます。



◀ 携帯電話のカメラをかざすと日高町議会事務局が投稿した動画一覧のページが表示されます

次に一般質問がある会議は12月です。